





# 奨励賞

## 選考委員からのコメント



阪口 瀬理奈氏

養蜂を通じて学生が自分ごととして生物多様性や環境問題を考えるきっかけとなる素晴らしい取組かと思います。一過性のプロジェクトではなく先輩から後輩へ巣箱とともにノウハウも引き継がれ、発展していくと思いますので、今後の展開が楽しみです。

## SDGsインパクト



### 【ターゲット 4.7】

学習者が持続可能なライフスタイル等の教育を通して知識とスキルを確実に習得できる

高校の屋上で養蜂が行われている環境で、ミツバチの生態をはじめ、静岡の魅力とミツバチを掛け合わせ、地域活性化を学ぶ機会となっている。



### 【ターゲット 17.17】

効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する

プロジェクトを通じて、高校生が地域で活躍する大人と関わりながら活動することができる。地域人材育成や静岡市で住み続ける意識の向上が期待できる。

## 奨励賞のポイント

ミツバチをはじめとした生物多様性の減少が問題視されており、その課題解決に貢献する取組となっている。このプロジェクトに関わった生徒たちが、今後さらに主体的に地域と関わりながら活動を発展させていくことを期待する。



## ミツバチの「めぐみ」がつなぐ静岡市

「ミツバチプロジェクト」静岡雙葉高等学校 × 株式会社 田子の月 × 大国屋製菓舗

### 1.取組概要

わたしたちが普段食べている主要農作物の75%は昆虫に花粉を運んでもらっています。そのうち90%の作物はセイヨウミツバチが花粉を運搬しています。駿府城公園のほりにある学校の屋上で養蜂を行い、その活動の周知、「めぐみ」であるハチミツやハチミツを用いた商品企画・販売を通してミツバチから受けている「めぐみ」を感じるとともに、ミツバチと共生できる地域環境の実現に取り組んでいます。

### 2.該当するSDGs目標



ハチミツのめぐみを得るためにはミツバチが過ごしやすい環境の維持、蜜源・水源の確保が必要です。その推進や啓発活動は陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進につながります。

### その他関連するSDGs目標

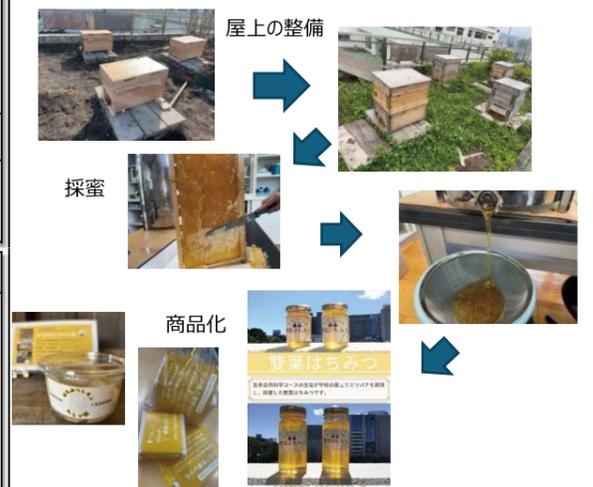


### 3.目標に対する達成状況、実績

飼育群数・・・3  
今年度の採蜜回数・・・5回  
ハチミツの収量・・・約70kg  
商品開発  
はちみつレモンもなか・はちみつレモンわらび餅  
IAIスタジアムでの販売



### 4.取組イメージ



### 5.取組が開始されたきっかけと展開

一昨年、学校の屋上でハチミツを取ろうとミツバチプロジェクトが始まりました。昨年度、静岡銀行主催のイベント（アオハルし放題）において、田子の月さんと企業連携で商品企画を行いました。静岡の魅力を引き出すというのが条件で商品企画を行ったことで静岡の魅力とは何かを見つめ考え、茶畑の荒廃から清沢レモンの存在を知り、その組み合わせで商品を考えました。商品が完成すると、商品企画の面白さを感じつつも、そもそもハチミツを得るためにその環境の維持が重要であることを学び、蜜源の確保をすることは地域の自然環境環境をよくすることにつながる。だから、ミツバチが生きていける自然環境の整備に意義があるという意識へ変わりました。



### 6.応募した取組の今後の計画・展開

安定したミツバチの飼育を行うこと。飼育技術の向上が重要です。また、学校現場で行っているために、その技術継承を上手に行っていくことが目下一番の課題です。また、現在の取り組みの紹介を校内で行います。また、文化祭での校内及び来校する方々へハチミツやハチミツの加工商品（今回はもなか・わらび餅・飴など）を通して学校周辺の自然の環境整備意義・価値を伝えていきます。また、科学的な探究素材として蜜源の特定やミツバチの生態など教育的価値を生かした環境教育を実施したり、屋上緑化活動などにつなげて行きたいと考えています。養蜂への理解を広げ、静岡市でもミツバチプロジェクトの活動が広がるようにしていきたいです。



駿府城公園にて

### 7.汎用性(他の事業所・団体が参加・真似しやすい)ポイント

都市養蜂に関するプロジェクトが全国的に広がっています。日本の都市養蜂の草分け的存在といわれているのが、2006年に中央区銀座3丁目にある紙パルプ会館の屋上で養蜂を始めた「銀座ミツバチプロジェクト」です。採蜜量は、初年度の150kgから2022年は計2.2tと、日本国内生産量の0.08%を占めるまでになっているようです。また、テレビ番組で新宿での養蜂の取り組みがあったり、昨年度参加したミツバチサミットでは高校や大学でも養蜂の取り組みが行われております。

全国都市養蜂ネットワーク ミツバチプロジェクトという団体があり、様々な地域での取り組みが行われております。

- ・サッポロ・ミツバチ・プロジェクト
- ・かしまミツバチプロジェクト
- ・さいたまミツバチプロジェクト
- ・江古田ミツバチ・プロジェクト
- ・丘ばちプロジェクト
- ・銀座ミツバチプロジェクト
- ・丸の内ハニープロジェクト
- ・マルハチ・プロジェクト
- ・長者町ハニカム計画
- ・笠寺ミツバチプロジェクトチーム
- ・梅田ミツバチプロジェクト
- ・萩・石見空港ミツバチプロジェクト
- ・熊本ハニープロジェクト
- ・etc



## 食料品寄付運動「せいしんフードドライブ」

静岡信用金庫 × NPO法人フードバンクふじのくに × 協力企業・自治会・学校

**1.取組概要**  
SDGsおよび地域貢献の一環として、食料品寄付運動「せいしんフードドライブ」を令和3年より実施しています。「せいしんフードドライブ」は、当金庫全店舗に食料品回収ボックスを設置し家庭で眠っている食料品などを広く募集する活動で、これまでに一般のご家庭のほか、多くの団体・学校とも連携し、約7,800名の方々に協力いただきました。寄付いただいた食料品は、NPO法人フードバンクふじのくに様に全て寄贈し、同団体より行政機関等を通じて食料支援が必要な方々に届けられます。

**2.該当するSDGs目標**  
地域が一体となって、貧困問題の解消および食品ロス削減を目指します。

**その他関連するSDGs目標**  
2 気候変動に具体的な対策を、3 健全な食生活への取組を、4 質の高い教育をみんなに、12 つぶやみ、17 パートnership for the goal

**3.目標に対する達成状況、実績**

回数	実施月	参加人数	回収量
第1回	令和3年5月	1,303名	971kg
第2回	令和3年11月	1,526名	1,074kg
第3回	令和4年5月	1,643名	847kg
第4回	令和4年11月	1,656名	1,030kg
第5回	令和5年11月	1,712名	1,025kg

**4.取組イメージ**

個人、企業、自治会、学校が協力依頼・募集し、静岡信用金庫へ提供。静岡信用金庫は食料品の提供をフードバンクふじのくにへ依頼。フードバンクふじのくには行政機関等に依頼し、食料品希望者に提供・授受する。

【全店舗ロービーに回収ボックスを設置】 【NPO法人フードバンクふじのくに様への寄贈式】

**5.取組が開始されたきっかけと展開**  
・令和3年に当金庫の創立100周年記念事業として、SDGsおよび地域貢献を目的にフードドライブを開始しました。各営業店と本部に食料品回収ボックスを設置し、賛同いただけるお客さまに加えて、金庫役職員も参加しました。  
・これまでに「せいしんフードドライブ」を計5回実施し、地域の自治会、近隣の学校、お取引先企業など約7,800名の方々に協力いただき、計4,947kgの食料品をNPO法人フードバンクふじのくに様に寄贈いたしました。  
・また、子供たちにもこの取組を知ってもらうため、希望する学校を対象にSDGsやフードロスに関する出前授業を行ったうえで、食料品回収などに協力していただきました。

【小学校でのSDGs出前授業】

**6.応募した取組の今後の計画・展開**  
・本取組をさらに多くの方々に周知するため、実施後には、実施結果および参加者の声を掲載したミニリーフレットを作成し配布しています。また当金庫HPのフードドライブ特設サイトにこれまでの取組を掲載しています。  
・参加者からは「一人暮らしでは、食料品を持って余ってしまうこともあるので、寄付できる場所があって良かったです」「つい買すぎてしまった食品を廃棄することなく社会貢献できるこの取組を、継続的に実施してほしい」等のお声をいただいていることから、今後もフードドライブの実施を継続し、本取組の定着を図っていきます。

【ミニリーフレット】

**7.汎用性(他の事業所・団体が参加・真似しやすい)ポイント**  
・貧困問題の解消および食品ロス削減のためには、より多くの方々の協力が必要です。フードドライブは、企業や学校単位でも、食料品を集めてフードバンクに寄付することができるため、誰でも参加しやすく汎用性が高いと考えます。また、身近でわかりやすい取組のため、子供たちも参加しやすく、「学び」を与えることができる取組みです。今後も取引先企業や地域の皆さま、子供たちと多くの方々と連携して本取組みが広がっていくことを期待します。

## 廃油回収でCO2削減！

住みよい東新田にする会 × 静岡油化工業(株)

**1.取組概要**  
静岡市駿河区東新田自治会環境委員では、永年地元企業協力の元、家庭内で出る天ぷら廃油を回収して参りました。回収された廃油は、静岡油化(株)が約7円/Lで買い取り、事業者からの回収分と共に、バイオ燃料(BDF)等へ処理され、一部は海外へも輸出されています。廃油回収による収入は、自治会の活動費に充てられ、持続可能な取組が実現されています。

**2.該当するSDGs目標**  
7 再生可能エネルギー、13 気候変動に具体的な対策を  
廃油の廃棄削減、再生エネルギーとしての利用を高め、二酸化炭素の排出削減を目指します。  
・車のバイオ燃料としての利用  
・航空燃料への一部利用  
(ドイツの標語より フライ TO FLY)

**その他関連するSDGs目標**  
9 産業・イノベーション、12 つぶやみ、13 気候変動に具体的な対策を

**3.目標に対する達成状況、実績**

近年家庭での天ぷら油の利用は減少傾向ですが、永年の実績表を添付します。

**4.取組イメージ**  
各家庭は、天ぷら廃油をペットボトルに一時保管する  
↓  
業者は、回収日前日に所定の場所にコンテナを用意する  
↓  
回収日午前中に、各家庭は所定の回収場所のコンテナへ入れる  
↓  
午後業者が巡回し、廃油回収を行う  
↓  
その後自社工場にてバイオ燃料等の前処理を行う  
  
(回収方法については) 各自治会で行っている、古紙回収、ビン・缶回収と同様なイメージで考えてください。

**5.取組が開始されたきっかけと展開**  
当会前任者は、以前より環境問題に深い関心を寄せておりました。その一環として前任者を中心に、東新田自治会では環境問題をテーマに「エコふれあい広場」を開催して参りました。広場では、地元有志による手作り商品・古着・地元野菜の販売等を行って参りました。一方環境事業で活躍している地域の企業の紹介も行いました。その中の一つが静岡油化工業(株)との天ぷら廃油の回収でした。業者については、令和20年頃静岡市から環境問題に取組む団体・企業等の募集があったそうです。その中で環境問題への取組み・考えがマッチングし、天ぷら廃油の回収が始まりました。残念ながら「エコふれあい広場」は、途切れてしまいましたが、廃油回収は現在でも続けられています。

**6.応募した取組の今後の計画・展開**  
・天ぷら油の廃棄の削減  
・地球温暖化問題でもある二酸化炭素削減  
・回収事業者の連携・回収後の処理方法・処理後の利用方法等の情報開示  
  
廃油回収は、難しい活動ではないと考えますので、もっと地域を広げて、各家庭での問題意識、環境への関わり等を身近に感じて頂きたいと思っております。

回収された廃油ボトル→

**7.汎用性(他の事業所・団体が参加・真似しやすい)ポイント**  
廃油回収方法については、  
・自治会単位での回収方法が良いと思います。例えば、ビン・缶回収と同じ方法  
  
・私共東新田自治会の場合  
毎月第一週の水曜日に所定の場所(5ヶ所)・方法(業者の回収コンテナ内へ)・廃油(不要なペットボトル等)に入れます。  
・自治会環境委員が各場所の回収状況の点検を行う。  
・午後業者(静岡油化工業(株))が回収に回ります。  
  
廃油回収日の案内について、  
・新年度迄に、業者と月日の確認をします。  
・確認済み後、町内の回覧版(自治会に依頼)に入れて回覧する。  
回覧は年2回、年度始めに年間分、8月に下期の予定を再度回覧します。  
  
\* 廃油回収日の案内文について添付します  
\* 静岡市公式ホームページの「ゴミの出し方」に、問合せ先が掲載されています

↑ 廃油回収の様子 (参考) 廃油回収日の案内文、新聞掲載実績

## みんなのファッションショー

### ものがたりのはじまりプロジェクト（ものがたりを着るお店choosy） × untitled

**1.取組概要** 『ものがたりを着るお店choosy』総合プロデューサー、お洋服の廃棄問題に取り組む団体『ものがたりのはじまりプロジェクト』と、障害の有無や性別・年齢に捉われないファッションショーの企画・運営をしている『untitled』による、ボーダーフリーなファッションショーの取組です。新しいものに拘らず、今この世の中にあるものを大切にしてお洋服を様々な年齢・性別のモデルさんが着用します。

#### 2.該当するSDGs目標

**10** 人や国の不平等をなくそう  
お洋服は流行りのものや新しいことが全てではないこと・どんな人がどんな服を着てもいいことをファッションショーで表現することによって差別や偏見を無くし、自由な見方で今生きていることを楽しめる世界を目指しています。

#### その他関連するSDGs目標



#### 3.目標に対する達成状況、実績

2024年3月就労支援事業所によるイベント『心オトリアルシェ』にて『みんなのファッションショー』を初開催しました。まだ始めたばかりの取組ですが、参加してくださったモデルさんやご家族・お客様から好評いただいています。また、ファッションショーで使用したお洋服は『ものがたりのはじまりプロジェクト』の作り手が制作したアップサイクル作品を多数使用しています。※このプロジェクトでは今まで3000着の廃棄服を作品制作に使用して販売したり、衣装協力に使用してきました。

#### 4.取組イメージ



#### 5.取組が開始されたきっかけと展開

ものがたりを着るお店choosyは、2020年にお洋服の廃棄問題に取り組む団体『ものがたりのはじまりプロジェクト』を立ち上げ活動してきました。そこへ2024年に障害の有無や性別に拘らない、ボーダーレスなファッションショーを企画・運営している『untitled』さんにご相談いただいたのが本取組のきっかけです。障害を持った方々は、自分らしくおしゃべりをしたいという気持ちがあるのにも関わらず、世間の風潮から両親がその気持ちを抑えてしまうことがほとんどです。もっと自由に、「ひとりひとりが着たい服を着よう！」と決めてファッションショーを企画・開催し、お洋服だけでなくヘアメイクも施しました。最初は恥ずかしかったり、自信が無くそうしていた方も、ヘアメイクをして衣装を身につけると、自分から鏡の前でポーズを取ったり、堂々とした表情に変わっていくのがとても印象的でした。お洋服には人を元気にする不思議な力があると信じています。ファッションを通じて、多様であることを大切に、尊重する世界を目指していきます。

#### 6.応募した取組の今後の計画・展開

初開催後の改善点として、下記のことに取り組みたいと思っています。  
・関係者の方々がボランティアで活動していること（誰かが労力を負担するのではなく、きちんと対価を支払われるべき）  
・特別な機会だけでなく、日常でも常に好きな服を着られる環境を作ること（まず障害を持った方が買い物に出かける機会がとて少ないという現実があります）  
また、根本的な取り組みとして、お洋服選びを教育として実施することができたらと思っています。教育といっても堅苦しいものではなく、着こなしの楽しみ方を伝えることができたかと思っています。男の子がスカート履いてみたり、様々な分類に括られない楽しみ方を知ることで、自然と物事を多角的に見るといったことが身につくはず。

#### 7.汎用性(他の事業所・団体が参加・真似しやすい)ポイント

共通意識として『ファッションは自由である』という価値観を広めることが必要だと考えます。そのことが多様性を受け止めるための良い学びになるからと考えます。『ファッションは自由である』という意識は、私たち2つの団体だけで広めるものではなく、できるだけたくさんの人と共に世の中に伝えていきたい大切なポイントです。そのことを踏まえて下記を提案します。  
・ファッションをたくさんの方が長く楽しめるように、お洋服の合わせ方やハギレを使ったアレンジを学ぶ講座開催。（※choosy店主は講師としても活動しています。）  
→年齢に限りはありませんが、できれば小さな頃から洋服の着こなし方を学ぶことで、流行に捉われず自分らしく物を楽しみ、大切にすることができるようにと考えます。手持ちのお洋服の他、ハギレを使ったアレンジも紹介したいと思います。何でも工夫すれば楽しむことができるということを、たくさんの方に覚えて頂くことで、物を長く大切に使う世の中を作っていきたいです。  
・事業所や、お洋服の制作者を限定せず、様々な団体にファッションショーを開催していただける仕組みづくり。  
→私たちが大切にしている多様性や公平性という軸をお伝えしつつ、たくさんの方に参加してもらうことで、広くファッションは自由であるという価値観を根付かせることができると考えます。私たちが独占して何かを訴えるのではなく、ノウハウを公開しつつ、様々な人がファッションショーに出会い、参加したり観ることができるようすることで、気づきの機会を増やすことができると考えています。

・古着やハギレからの衣装制作の協力・お直しの受付  
→『ものがたりのはじまりプロジェクト』には様々な作り手が所属しています。ファッションショーを開催したいという方のイメージをお聞きして、様々な角度からどんな衣装が良いのか、どんなものが制作できるのか、提案することが可能です。また、新しく衣装を制作するだけではなく、お手持ちの破れてしまったり汚れてしまっているお洋服のお直しも受け付けています。

## S-PULSEフードドライブ ～CHALLENGE with ONE FAMILY～

(株) エスパルス × 静岡市 ×  
(株) 故紙センターヨタ × (株) ファミリーマート × 認定NPO法人フードバンクふじのくに

**1.取組概要** 清水エスパルスでは、SDGs・環境への取組み「エスパルスエコチャレンジ」の一環として、2021年より静岡市と連携し、ご家庭で発生する食品ロスを減らす方法の1つで家庭で眠っている食品を集めてフードバンクに寄付する活動『フードドライブ』の取組みを行っています。これまではホームゲームにて年間数試合活動を行っていましたが、活動をより発展させ、多くの市民の方に参加いただくために、地元企業2社にご協力いただき、2024年6月の1か月間 地域に根付いたコンビニエンスストアなど市民にも身近な場所で広く食品寄附を呼びかけました。

#### 2.該当するSDGs目標

**12** つぶやみ消費  
食品ロスは「まだ食べられるのに捨てている食品」のことで、日本では年間472万トン(※1)もの食品が捨てられ、そのうち家庭から発生している食品ロスは236万トン(※1)にのぼります。これまで捨てていた食品を寄付することで、食品ロス削減につながります。(※1)食品廃棄物の発生量(令和4年度推計)農林水産省及び環境省

#### その他関連するSDGs目標



#### 3.目標に対する達成状況、実績

648個 約96.3kgの食品を寄附  
食品：穀物40個、缶詰139個、乾物38個、インスタント103個、レトルト11個、飲料115個、調味料21個、お菓子111個、その他10個  
回収場所：ファミリーマート静岡市内24店舗、エスパルスドリームフィールド県内5施設、IAIスタジアム日本平、エスパルスホームゲーム2試合  
本企画にて実施したアンケートによると、食品ロスを減らす取組をしている人は205名 81%、またフードドライブに参加したことある人は今回初めて参加した人も含め67名 26%でした。(回答数252名)

#### 4.取組イメージ



#### 5.取組が開始されたきっかけと展開

・2021年にSDGs・環境への取組みを強化するためにどんな活動ができるかクラブから静岡市ごみ減量推進課に相談したことがきっかけです。『フードドライブ』は食品ロス削減に加えて、生活困窮者の支援にもつながっています。リーグでも実施例があり、静岡市としても活動を広める方法を検討していたため、ホームゲームにて環境啓発ブースとして始めました。以降、年数回 試合会場で食品を回収してきました。  
・2023年より本活動を故紙センターヨタ様に賛同いただき、ブースにてフードドライブの食品回収と、未来を担う子どもたちへ4Rクイズなどの環境教育を行っています。  
・2024年よりファミリーマート様にも賛同いただき、より市民に身近なコンビニエンスストアでも活動を展開しました。試合以外の場所で活動を行うことで、エスパルスファン・サポーターのみならず、多くの市民にフードドライブを周知するとともに、困っている人に寄り添う心、食べ物を無駄にしない気持ちを育んでもらうことができました。

#### 6.応募した取組の今後の計画・展開

フードバンクふじのくに様からは、「新型コロナと物価高騰などにより生活に困っている方が増えている一方で、こちらも物価高騰の影響で食品寄贈が減少傾向にあります。地域の広告塔となるエスパルスが率先して活動を行うことで、県民の皆様はフードバンク活動がより広がっていくと思います。」といったコメントをいただいております。  
エスパルスがSDGsを発信することで、「難しそう、自分とは無関係」と捉えられがちな社会課題を、ファン・サポーターをはじめ市民の皆様にも『自分ごと』として考えていただくきっかけを作ることができます。  
今後もクラブの強みである「人々の行動変容を起こす情報発信力や影響力」、「様々な人・団体をつなぐハブ機能」を活かし、地元企業・団体様と連携し、食品ロス削減の取組の1つとして「フードドライブ」を市民に広く周知し、回収場所の紹介や子どもたちへのSDGs教育を行う等、プロスポーツクラブだからこそできる活動を引き続き展開していきます。

#### 7.汎用性(他の事業所・団体が参加・真似しやすい)ポイント

・故紙センターヨタ様より、「社内で食品回収の輪が広がり、ブース運営も1つのイベントとして社員皆で楽しく取り組んでいます。」といったコメントをいただいております。食品寄附時にはフードバンクふじのくに様より食品ロスの現状やフードバンクの仕組みを講話いただき、企業のSDGs推進、社員教育にも繋がっています。  
・ファミリーマート様の店舗でフードドライブを知った方がその場で食品を購入し寄附いただいたり、ご自宅に戻り食品を持参いただいたり、新たに地域と店舗の繋がりができました。ファミリーマート様は普段から店舗でフードドライブを実施しており、クラブの活動を企業のSDGs活動につなぐことも目指しました。  
・エスパルスは市内の高校と連携し多くのコラボ事業を行っています。食品ロス削減は高校生にも身近なテーマで、学校でのフードドライブ呼びかけやフードロス削減レシピ考案などもこれまで活動に合わせ実施しました。



生産から販売まで静岡市内で完結！特産品に隠された「もったいない」を活用！

株式会社濱村屋 × 株式会社なすび × しずおかもったいないプロジェクト

<p><b>1.取組概要</b></p>	<p>静岡市特産品「久能葉生姜」は出荷時に根の先端部分（喫食可能箇所）が廃棄されていました。(株)濱村屋はそちらを購入し、オリジナル商品として「久能葉生姜焼売」を開発しました。(株)濱村屋のお得意先である(株)なすび様で商品を継続的に使用して頂き、メニューで提供して頂いています。また、もったいないプロジェクトと共し、農家の拡充や食育推進を行っていき、さらなる事業拡大を目指していきます。</p>		
<p><b>2.該当するSDGs目標</b></p>	<p>12 持続可能な消費と生産 17 パートナリシップを促進しよう</p> <p>葉生姜出荷時における廃棄量を抑制し、生産から販売、消費までのサイクルを確立する事により、食料損失を減少させることで目標達成に貢献しています。</p>		
<p><b>その他関連するSDGs目標</b></p>	<p>4 質の高い教育をみんなに 17 パートナリシップを促進しよう</p>		
<p><b>3.目標に対する達成状況、実績</b></p>	<p>「久能葉生姜焼売」を販売開始して以来、累計で約18万個の売上実績を上げ、およそ3tの捨てられてしまうはずだった葉生姜を活用させて頂きました。一部、市内小中学校では食育教育の場で取り組みが紹介され、給食に取り入れられた実績もあります。葉生姜焼売以外にも、「つまみ揚げ」や「混ぜ込みご飯の素」として商品開発し、廃棄量削減に努めております。</p>		
<p><b>5.取組が開始されたきっかけと展開</b></p>	<p>静岡全域を活動拠点とする業務用食品卸問屋(株)濱村屋と、静岡で規格外野菜の活用や食品ロス削減に取り組む「しずおかもったいないプロジェクト」(以下もっぴろ)は、学校給食関連で取り組みを開始しました。当社は問屋でありながら地産食材を活用した自社PB「シズワ®」の開発にも力を入れています。葉生姜出荷時に出る廃棄品にいち早く目を付け、焼売やその他商品の開発・販売に取り組んできました。一軒でも多く、廃棄している農家とのつながりが欲しいと考え、当社の取り組みに賛同したもっぴろは農家を当社に紹介し、ロス削減に協力しました。静岡市内に様々な飲食店を展開している(株)なすび様では、地場産品を取り入れたメニューを多く提供しており、当社の地産商品も多く使用して頂いております。中でも葉生姜焼売は発売当初から現在に至るまで継続して使用して頂き、積極的な地産地消の推進に貢献しています。</p>		
<p><b>6.応募した取組の今後の計画・展開</b></p>	<p>葉生姜焼売の今後としては、しずおかもったいないプロジェクトの協力のもと、仕入農家の更なる拡充や、食品ロスの削減・地産地消の取り組みに賛同いただけるお得意先様を増やしていきたいです。連携事業の今後としては、三者の結びつきをより強化し、小中学校への出前授業や消費者を巻き込んだ販売イベントの企画、農家の困りごとを解決できる新たな商品開発を共同で行っていく予定です。当社経営革新事業の仕入・生産・加工・販売・消費まで静岡市内で完結できるという強みを生かし、地球環境に配慮しながら住みよい静岡をつくり、地域活性化につなげていきたいです。</p>		

**4.取組イメージ**



(株)濱村屋が市内久能の農家さんより原料を仕入れます。



(株)濱村屋がメーカーに焼売の製造を依頼し、在庫管理・販売(卸)を担当。しずおかもったいないプロジェクトとも協力しながら販路、消費の拡大を目指しています。



(株)なすび様では、久能葉生姜焼売を継続的にメニューで使用して頂き、積極的に地産食材の活用に取り組んでいます。



SUSTAINABLE GARDEN PROJECT～地球にやさしいガーデニングを広めよう～

静岡県信連 × (株)TOWING × 天竜森林組合 × (株)エスパルス

<p><b>1.取組概要</b></p>	<p>静岡県信連は、「持続可能な農業・地域の成長・発展に貢献する」ことを存在意義とし、ビジョン「Agrigional Coordinator」の実現に向け、SDGs活動にも積極的に取り組んでいます。本件は、家庭で取り組める脱炭素活動「地球にやさしいガーデニング」を世の中に提案し、普及活動を通じて、脱炭素社会の実現に寄与することを目的としています。その一環として、(株)エスパルスのスクール生・ご家族・サポーターの皆さま向けに、(株)TOWINGの高機能ソイル技術を活用した高機能バイオ炭「宙炭」を用いて育苗・栽培した「宙炭」を植えたプランターを(株)エスパルスのエスパルスドリームフィールド等に設置したほか、エスパルスのホームスタジアムIAIスタジアム日本平の花壇の一面に宙炭・宙炭を植栽しました。また、木製のプランターケースは、天竜森林組合に協力いただき、天竜産の間伐材を使用しています。</p>		
<p><b>2.該当するSDGs目標</b></p>	<p>13 気候変動に具体的な対策を 17 パートナリシップを促進しよう</p> <p>植栽した「宙炭」は「宙炭」を使って栽培しており、炭素の固定・吸収効果があり、苗1株当たり約150gのCO<sub>2</sub>削減効果(乗用車1.5km走行分の排出量)があることが実証されています。家庭でできるガーデニングに活用できるほか、農業における脱炭素にも応用できます。</p>		
<p><b>その他関連するSDGs目標</b></p>	<p>11 持続可能な都市と地域 17 パートナリシップを促進しよう</p> <p>プランターに天竜の間伐材を用いています。また、「宙炭」は本来であれば廃棄・焼却される植物残渣、家畜の糞、下水汚泥等を材料とするため、焼却によるCO<sub>2</sub>排出量が減るほか、サーキュラーエコノミーの実現に寄与します。</p> <p>天竜森林組合の地域への情報発信力、(株)TOWINGの「高機能ソイル」技術、天竜森林組合の生産場所が明確で、環境に配慮した杉・桧、静岡県信連のコーディネートという4団体のパートナーシップにより、本企画は実現しました。</p>		
<p><b>3.目標に対する達成状況、実績</b></p>	<p>【第1弾】27株(マリーゴールド3株×プランター9基)により、約4.05kg(乗用車40.5km走行分の排出量)のCO<sub>2</sub>削減に相当します。 【第2弾】48株(ピオラ4株×プランター12基)により、約7.2kg(乗用車72.0km走行分の排出量)のCO<sub>2</sub>削減に相当します。 【第3弾】70株(ガゼニア70株×スタジアム花壇)により、約10.5kg(乗用車105.0km走行分の排出量)のCO<sub>2</sub>削減に相当します。</p> <p>プランターケースは、「FSC認証」を受けた天竜産の間伐材加工製品です。 「宙炭」の原料となる残渣等を(株)TOWINGに紹介しています。</p>		
<p><b>5.取組が開始されたきっかけと展開</b></p>	<p>・みどりの食料システム戦略の中で謳われている、『未来の子どもたちの「食」を守るためには、「食料システム」を環境にやさしいもの(=みどり)とし〜』を実現するため、(株)TOWINGの「宙炭」の技術を、県内の生産現場(農業)に活用したいといった思いがきっかけです。</p> <p>・家庭でもできるガーデニングに着目し、まずはプランターから始め、各団体の協力を得ながらご家庭での脱炭素アクションの普及・PRに努めたものです。</p> <p>・「陸の豊かさを守ろう」といった観点から、プランターについては、天竜森林組合に協力いただき、FSC認証材である天竜産の間伐材で作成しました。</p> <p>・様々なSDGs活動を積極的に展開し、スクール生・ご家族・サポーターの皆さまと情報発信力をもつ(株)エスパルスに協力いただき、クラブ関連施設等にプランターを設置した後、多くの方の目に留まるスタジアム花壇の一面(エスパルスのホームスタジアムIAIスタジアム日本平)に植栽いただきました。</p>		
<p><b>6.応募した取組の今後の計画・展開</b></p>	<p>・上述のとおり、多くのファン・サポーターの目に留まるスタジアム花壇の一面に植栽場所を変更しました。</p> <p>・(株)エスパルスの発信力により、市内小学生向けのPR活動も行っています。</p> <p>・環境にやさしい農業を実現するため、JA・生産者と連携し、(株)TOWINGの「宙炭」の施肥等、栽培実証試験を進めています。</p> <p>・また、もみ殻・茶殻・残渣等が「宙炭」の原料となるため、未利用のバイオマス処理の課題を抱える取引先とのマッチングを進め資源循環に貢献します。</p>		

**4.取組イメージ**

『S-PULSE SDGs ACTION 地域と共に未来につなぐ』をキャッチフレーズとし、積極的にSDGsに取り組んでいる(株)エスパルスと、「サステナブルな次世代農業を起点とする超循環社会を実現する」をミッションに掲げ、人工土壌の技術「高機能ソイル技術」を活用した、高機能バイオ炭「宙炭」を開発・販売する(株)TOWING、伝統ある林業地である浜松市天竜の山の中でも、【生産場所がはっきりとして、環境に配慮し、適切に管理された杉・桧】のみを使用して、さまざまな加工を行っている天竜森林組合といった3団体を静岡県信連がコーディネートし、環境配慮型農業(ガーデニング)の実現に向けた取組みです。



**実際の様子**



**7.汎用性(他の事業所・団体が参加・真似しやすい)ポイント**

- ・(株)エスパルスの情報発信力や、SDGsに積極的に取り組む力により、地域の皆さまと楽しみながら普及活動を行えます。
- ・天竜産の間伐材については、天竜森林組合がリクエストに応じオリジナル製品の加工も施していただけるため、プランターだけでなく、花壇横に設置するオリジナルベンチや木柵等の作成も可能です。
- ・「宙炭」は、施用するだけでCO<sub>2</sub>の削減効果を得られるほか、農業現場においては、化学肥料の減肥、たい肥投入頻度の低減、連作障害緩和等、様々なメリットがあります。
- ・各団体の強みや思いをつなぎ合わせ、地域が一体となって課題解決に取り組むことが、サステナビリティにつながると思います。本会は農業系金融機関として、地球にやさしい農業の普及・発展に努めます。



## 荒廃農地で静岡の新たな大生姜ブランドを立ち上げよう！

丸徳商事(有) × 地元農家さん × おじまセレクション(株) ×  
(株)ファイングローバルサービス × (有)梅光 × リカーランド・マツナガ

**1.取組概要**  
野菜の価格の低迷や農家の高齢化をうけ、現状の作物栽培を続けられない農家さんが増えています。農業をやめたくない気持ちとは反面、辞めざるをえない環境となっているのが現状です。静岡県内の企業の連携力を強めることで、荒廃農地の増加を抑え、農業継続のための取り組みです。丸徳商事(有)は産業廃棄物を活用して有機肥料を製造している利点を活かし、有機肥料を提供して農家さんと大生姜の栽培連携しております。また、静岡県内の企業と連携を拡大しながら生姜商品を静岡の名産にして農業を守る取り組みを行っています。

### 2.該当するSDGs目標

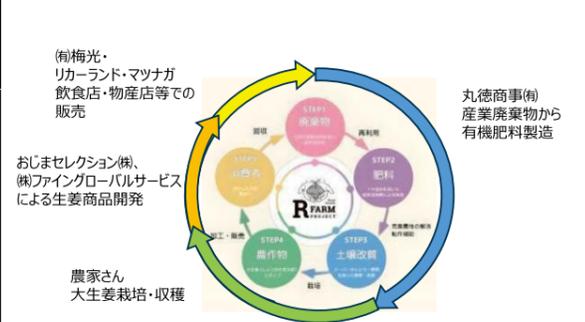
16  
大生姜を栽培する農家さん・大生姜を商品化する企業(おじまセレクション(株)、(株)ファイングローバルサービス等)・生姜商品を販売する飲食店や物産店(有)梅光、リカーランド・マツナガ等静岡県の様々な業種の方達と連携し、アイデアを出しあい、交流を広げたり深めることで大生姜のブランドの認知度やより良い商品へと推進することが出来ます。

### 3.目標に対する達成状況、実績

9  
12  
17  
・荒廃農地を再利用して大生姜の栽培を連携して下さる農家さん  
2023年1件→2024年2件(2025年には+2件希望者有)  
・大生姜商品を開発する静岡県内の連携企業様(おじまセレクション(株)、(株)ファイングローバルサービス等)2023年2件→2024年現在3件  
・生姜商品を販売して下さるお店(有)梅光、リカーランド・マツナガ等)  
2023年2件→2024年現在5件  
今後もすべての項目で連携いただける方を探しております。

### 4.取組イメージ

荒廃農地を活用したり農家様と連携し、農業衰退を食い止めるべく、丸徳商事(有)が製造した有機肥料を連携する農家さんへ提供し荒廃農地の改質や大生姜の栽培しております。収穫した大生姜を商品製造をする連携企業様に生姜商品を開発・製造していただきます。製造した生姜商品を広めるべく地元飲食店様や物産店様等と連携し認知度向上や生姜商品の価値を周知し、静岡県産の大生姜のブランド化を目指して取り組んでおります。



### 5.取組が開始されたきっかけと展開

丸徳商事(有)が製造する有機肥料のより良い活用方法を考えたことがきっかけです。近隣に住む農家さんより、作物の卸売価格の深刻な低価格化や高齢化に伴い、より価値のある作物の栽培をしたい願いを聞き、作物の価値を上げることを目指し開始した取り組みです。大生姜は農家さんの手がかりにくく大きく成長し、健康や美容等に効果があるとされ利用頻度が高い作物です。販路が安定して農業のできる環境作りを行い、静岡県内の連携を希望する農家さん、開発・製造の企業様や販売先や販売向上方法の模索を連携先の皆様と取り組んでおります。取り組みを進めることで荒廃農地の活用が広がること・農家さん同士の関係性の構築・静岡県内の農業や地産地消の向上を目指しております。

### 6.応募した取組の今後の計画・展開

今回、令和6年度SDGs連携アワードに応募し、この取り組みを1人でも多くの方に知ってもらいたいと願っております。静岡県内のどこかで生姜商品を見つけていただいたときにこの取り組みを思い出していただくと嬉しい限りです。また、転作を検討している農家さんや現状の農業継続を困難でお悩みの農家さんに対し、ぜひ大生姜の栽培を連携していただけるようでしたら連携の広がり期待しております。他にも生姜商品のアイデアを持つ開発・製造元の企業様や販売をいただけるお店等、静岡県にて農業の継続や向上を目指し連携の広がりを目指しております。将来的には静岡県産の大生姜・生姜商品を全国的に認知度を高め、静岡県の農業の技術力・開発力や連携力を高めていきたいです。

### 7.汎用性(他の事業所・団体が参加・真似しやすい)ポイント

この取り組みは農家さん、商品開発・製造業、飲食店・物産店等多くの方に連携していただきたい取り組みです。

農家さんには丸徳商事(有)の有機肥料を活用して大生姜栽培を実施いただきたく、また栽培ノウハウを連携いただく農家さん同士で共有しネットワークを構築することを目指しております。この取り組みでは、収穫した大生姜は全量、丸徳商事(有)が買い取りをしております。売れ残りによる廃棄等はありません。そのため農家さんも安心して連携できる事も利点として挙げられます。商品開発・製造業の企業様にはまだまだ生姜商品のラインナップが少ない状況のため、大生姜を活用したより画期的な新商品や新たなアプローチなど商品開発・製造業だから思いつく発想をぜひご教授いただき、連携していただきたいと考えております。生姜商品を広めるべく、販売の要である飲食店や物産店等のお店を経営される企業様にはぜひ静岡県産の大生姜を使用した生姜商品の販売を連携いただき、地産地消や地物の発展、またそのお店の集客の向上を目指し、一緒に生姜商品の人気や認知度を高めていきたいと希望しております。このように他業種、どのような業種の方でも連携できる接点があると思います。また産学連携のように若い方や行政の視点からもアドバイスを希望しており、今回の応募によってより連携力を深められることを現連携チームとしても歓迎しております。

他事業者様が現在の事業からご連携いただける場合、是非お気軽にご連絡お待ちしております。また、丸徳商事(有)より、お声掛けさせていただく場合もございます。ご興味を持っていただけましたら幸いです。



### 貧困をなくそう

#### 食料品寄付運動「せいしんフードドライブ」 P22

事業所・団体名	◎ 静岡信用金庫	所在地	静岡市葵区昭和町2-1
連携における役割	食料品寄付運動実施	業種	金融・保険業
事業所・団体名	NPO法人 フードバンクふじのくに	所在地	静岡市葵区駿府町1-70
連携における役割	食料品の受入れ・保管・管理・供給	業種	団体



### すべての人に健康と福祉を

#### サクラノキテラスでつながる、誰もが取り残されない健康を！ P10

事業所・団体名	◎ 医療法人 俊恵会 大石内科循環器科医院	所在地	静岡市葵区鷹匠2丁目6-1
連携における役割	主催者として医療知識と開催場所を提供し、企画・運営などビジョンの実現へ向けた活動を行っています。	業種	サービス業
事業所・団体名	株式会社 やまうち薬局	所在地	静岡市葵区相生町8-7
連携における役割	コアメンバーとして企画・運営に携わり、薬剤師の観点から健康や医療に関する参加型講座や、プログラムの開催などを行っています。	業種	卸売・小売・飲食業
事業所・団体名	株式会社 鈴良 スポーツクラブセイシン	所在地	静岡市葵区土土2丁目20-25
連携における役割	コアメンバーとして企画・運営に携わり、健康運動指導士・管理栄養士が運動や食事・健康に関する参加型講座やプログラムの提供と協力、出店などを行っています。	業種	サービス業



### 質の高い教育をみんなに

#### 環境配慮型教育支援プラモデルによるマテリアルリサイクル促進プロジェクト P12

事業所・団体名	◎ 一般社団法人 しずおかビジョン研究所	所在地	静岡市駿河区下川原南17-20
連携における役割	「ひとつくり」「まちづくり」をテーマとするシンクタンクとして、本プロジェクトの中心となって企画・運営し、パートナー企業を取りまとめるながらSDGs推進に取り組んでいます。	業種	団体
事業所・団体名	株式会社 西商店	所在地	静岡市駿河区中吉田7-92
連携における役割	産廃のリサイクル処理を通じて循環型社会実現に積極的に取り組んでおり、再生プラスチックの提供と環境教育を実施してくれています。	業種	建設業
事業所・団体名	株式会社 青島文化教材社	所在地	静岡市葵区流通センター12-3
連携における役割	創業100周年を迎えるプラモデルメーカーで、再生プラスチックを使用した環境配慮型教育支援プラモデルを提供し、ものづくりの楽しさを普及啓発してくれています。	業種	製造業
事業所・団体名	学校法人 麗華学園(幼保連携型認定こども園 梨花幼稚園)	所在地	静岡市駿河区下川原2丁目33-15
連携における役割	「心豊かにたくましく」を教育目標としており、幼児と保護者が一緒に環境教育と伝統文化教育を実施できる機会を提供し、循環型社会実現に貢献してくれています。	業種	教育機関



### エネルギーをみんなにそしてクリーンに

#### 廃油回収でCO<sub>2</sub>削減! P23

事業所・団体名	◎ 住みよい東新田にする会	所在地	静岡市駿河区東新田5丁目16-19
連携における役割	自治会住民、並びに連携企業への回収日・方法の連絡	業種	団体
事業所・団体名	静岡油化工業 株式会社	所在地	静岡市駿河区広野1699-1
連携における役割	廃油回収、並びにバイオ燃料への前段階加工	業種	製造業



### 働きがいも経済成長も

#### クラフトビール製造の副産物をアップサイクルした販促グッズで売上向上! P8

事業所・団体名	◎ 静岡醸造 株式会社 丸子工場	所在地	静岡市駿河区丸子3240-1 駿府の工房匠宿内
連携における役割	本連携の企画立案および取りまとめを担当しました。また地域限定クラフトビールの製造者でもあります。	業種	製造業

◎ お問合せ代表

事業所・団体名	駿府の工房 匠宿	所在地	静岡市駿河区丸子3240-1
連携における役割	地域限定クラフトビールの店頭販売およびプロモーションを担当しています。	業種	サービス業
事業所・団体名	就労継続支援B型事業所 rico	所在地	静岡市葵区美川町15-14
連携における役割	利用者さんの業務として副産物を使用したトートバッグの縫製を担当しています。	業種	サービス業
事業所・団体名	株式会社 第一クリエイティブ	所在地	静岡市駿河区新川2丁目3-15
連携における役割	副産物を使用した手漉き紙の開発・製造を担当しました。	業種	製造業
事業所・団体名	縫製作家 15(イコ)	所在地	静岡市葵区羽鳥本町20-26
連携における役割	副産物を使用したトートバッグのデザインを担当しました。	業種	製造業
事業所・団体名	桜井養蜂	所在地	静岡市駿河区丸子3261
連携における役割	地域限定クラフトビールの原料となるハチミツを生産しています。	業種	農業



人や国の不平等をなくそう

LGBTQカップルのためのフレンドリー企業一覧マップを製作 P6

事業所・団体名	◎ 静岡大学 学生支援センター キャリアサポート部門	所在地	静岡市駿河区大谷836
連携における役割	本取組のアドバイザーとして、学生の指導や支援のほか、企業・店舗に案内した	業種	教育機関
事業所・団体名	LGBTサークル grandiose	所在地	静岡市駿河区大谷836 静岡大学内
連携における役割	本取組の発起人として、企業・店舗への説明、取材、情報広告のとりまとめを行った	業種	団体
事業所・団体名	NPO法人 静岡県男女共同参画センター交流会議	所在地	静岡市駿河区馬淵1丁目17-1
連携における役割	専門家としての学生支援とマップ製作に係るコーディネート、費用負担を担った	業種	団体
事業所・団体名	NPO法人 しずおかLGBTQ+	所在地	静岡市葵区一番町50番地 番町市民活動センター内
連携における役割	専門家としてマップ製作および活用に向けた行政機関との調整、費用負担を担った	業種	団体

みんなのファッションショー P24

事業所・団体名	◎ のがたりを着るお店choosy	所在地	静岡市葵区古庄3丁目18-12 園舎103号
連携における役割	主催・衣装提供	業種	卸売・小売・飲食業
事業所・団体名	ものがたりのはじまりプロジェクト	所在地	静岡市葵区音羽町15-15-402
連携における役割	衣装制作・協力	業種	団体
事業所・団体名	untitled	所在地	静岡市葵区長沼500
連携における役割	モデルの派遣	業種	団体



住み続けられるまちづくりを

SDGs環境教育プログラム「バガス容器が見出す無限の可能性」 P16

事業所・団体名	◎ 株式会社 エスパルス	所在地	静岡市清水区袖師町1492
連携における役割	実施主体	業種	サービス業
事業所・団体名	株式会社 折兼 富士営業所	所在地	静岡県富士市五貫島1203
連携における役割	実施主体	業種	卸売・小売・飲食業
事業所・団体名	伊豆川飼料 株式会社	所在地	静岡市清水区横砂南町4-35
連携における役割	バガス容器の堆肥化	業種	製造業



つくる責任 つかう責任

「私たちの学びを届けて未来へ繋げる」～静岡市の特産品を活用して～ P14

事業所・団体名	◎ 静岡市立清水桜が丘高等学校	所在地	静岡市清水区桜が丘町7-15
連携における役割	産官学共同での活動の企画	業種	教育機関
事業所・団体名	有限会社 秋月堂	所在地	静岡市清水区西久保520
連携における役割	高校生への講話・新商品開発における商品レシピの監修・製造販売	業種	製造業
事業所・団体名	しずおかもったいないプロジェクト	所在地	静岡市駿河区丸子新田461-1-20D
連携における役割	高校生への講話(特産品の現状)・葉ネギの提供	業種	卸売・小売・飲食業

高大産連携!廃棄野菜を餌とした用宗海岸ムラサキウニ養殖プロジェクト P18

事業所・団体名	◎ 国立大学法人 山梨大学	所在地	山梨県甲府市武田4丁目4-37
連携における役割	ムラサキウニに関する文献調査・データ取得・解析ならびにプロジェクト計画等	業種	教育機関
事業所・団体名	株式会社 ピックルスコーポレーション	所在地	埼玉県所沢市東住吉7-8
連携における役割	プロジェクト運営・廃棄野菜の供給	業種	製造業
事業所・団体名	静岡県立焼津水産高等学校	所在地	静岡県焼津市焼津5丁目5-2
連携における役割	ムラサキウニ養殖(栽培漁業科)・ムラサキウニ採捕(海洋部ダイビング班)	業種	教育機関
事業所・団体名	清水漁業共同組合 用宗支所	所在地	静岡市駿河区用宗2丁目18-1
連携における役割	ムラサキウニ採捕ならびに素潜りにおける安全指導	業種	漁業

S-PULSEフードドライブ ～CHALLENGE with ONE FAMILY～ P25

事業所・団体名	◎ 株式会社 エスパルス	所在地	静岡市清水区三保2695-1
連携における役割	実施主体	業種	サービス業
事業所・団体名	静岡市役所 環境局ごみ減量推進課	所在地	静岡市葵区追手町5-1
連携における役割	協働実施	業種	行政機関
事業所・団体名	株式会社 故紙セントアトヨタ	所在地	静岡市駿河区豊田3丁目10-16
連携における役割	協働実施	業種	卸売・小売・飲食業
事業所・団体名	株式会社 ファミリーマート	所在地	静岡市駿河区寿町20-11 3F
連携における役割	協働実施	業種	卸売・小売・飲食業
事業所・団体名	認定NPO法人 フードバンクふじのくに	所在地	静岡市葵区駿府町1-70 1F
連携における役割	寄附先、告知・アドバイス協力	業種	団体

生産から販売まで静岡市内で完結!特産品に隠された「もったいない」を活用! P26

事業所・団体名	◎ 株式会社 濱村屋 静岡本社	所在地	静岡市葵区流通センター5-8
連携における役割	商品開発・製造依頼・在庫管理・販売	業種	卸売
事業所・団体名	株式会社 なすび	所在地	静岡市清水区谷田8-2
連携における役割	地産商品の活用・一般消費者への提供	業種	飲食業

事業所・団体名	しずおかもったいないプロジェクト	所在地	静岡市葵区福田ヶ谷308
連携における役割	規格外野菜や廃棄物の活用を希望する農家との橋渡し・商品開発・販売促進	業種	団体



### 気候変動に具体的な対策を

#### SUSTAINABLE GARDEN PROJECT～地球にやさしいガーデニングを広めよう～ P27

事業所・団体名	◎ 静岡県信用農業協同組合連合会 経営企画部	所在地	静岡市駿河区曲金3丁目8-1
連携における役割	企画運営・全体コーディネート	業種	金融・保険業
事業所・団体名	株式会社 エスパルス	所在地	静岡市清水区三保2695-1
連携における役割	花壇管理・施設提供・普及PR活動	業種	団体
事業所・団体名	天竜森林組合	所在地	浜松市天竜区船明1951-1
連携における役割	天竜産の間伐材によるプランターの作成	業種	団体
事業所・団体名	株式会社 TOWING	所在地	愛知県名古屋市長区前浜通7-1-2NTラボ
連携における役割	「宙炭」、「宙苗」による脱炭素技術の提供	業種	製造業



### 陸の豊かさを守ろう

#### ミツバチの「めぐみ」がつなぐ静岡市 P20

事業所・団体名	◎ 静岡雙葉高等学校	所在地	静岡市葵区追手町10-71
連携における役割	養蜂	業種	教育機関
事業所・団体名	株式会社 田子の月	所在地	静岡県富士市今泉380-1
連携における役割	最中の製造	業種	卸売・小売・飲食業
事業所・団体名	大國屋製菓舗	所在地	静岡市葵区大岩2丁目3-8
連携における役割	わらび餅の製造	業種	卸売・小売・飲食業

#### 荒廃農地で静岡の新たな大生姜ブランドを立ち上げよう! P28

事業所・団体名	◎ 丸徳商事 有限会社	所在地	静岡市清水区鳥坂575
連携における役割	産業廃棄物をリサイクルした肥料製造と製造した有機肥料を用いた大生姜の栽培	業種	サービス業
事業所・団体名	おじまセレクション 株式会社	所在地	静岡市駿河区中吉田40-14
連携における役割	商品開発・製造と販売	業種	卸売・小売・飲食業
事業所・団体名	株式会社 ファイングローバルサービス	所在地	静岡市葵区伝馬町21-13 三共トラスビル2F
連携における役割	商品開発と製造	業種	卸売・小売・飲食業
事業所・団体名	有限会社 梅光	所在地	静岡市清水区万世町1-6-30
連携における役割	生姜商品の販売	業種	卸売・小売・飲食業
事業所・団体名	リカーランド・マツナガ	所在地	静岡市清水区下野西3-28
連携における役割	生姜商品の販売	業種	卸売・小売・飲食業
事業所・団体名	地元農家さん	所在地	
連携における役割	大生姜栽培	業種	

本事例集の取組事例において、提出された応募シート(R6.9時点)を原則そのまま掲載しております。中には国際連合広報センターが掲載している「カラーホイールを含むSDGsロゴと17のアイコンの使用ガイドライン」に適しない表記等が見られる場合がございますので、ご注意ください。